

中央中学校
平成30年度
学校通信

ひら

いま拓く

桐生市立中央中学校
平成30年 4月20日
NO. 2 文責：寺島

平成30年度の中央中が目指すところです

【学校教育目標】

(1) 基本目標

自ら学び、創造し、実践できる 心豊かな生徒の育成

(2) 具体目標

ア 目指す学校像・・・「共に磨き合う中で」

ち ゆ う お う

「知性」・「友情」・「運動」・「思いやり」・「潤い」

イ 目指す生徒像

「知」すすんで学び、自分の考えをはっきり言える生徒

「徳」すすんで友達と関わり、明るく思いやりのある生徒

「体」すすんで身体をきたえ、ねばり強くやりぬく生徒

(3) 学校経営の方針

ア 基本的な考え方

「知性」・「友情」・「運動」・「思いやり」・「潤い」を合い言葉に、日々の教育活動を充実させ、生徒一人ひとりが良さや能力を発揮し、存在感、成就感、交友する楽しさを実感できる学校を創造する。

『共に磨き合う授業の創造』を目指し、組織として機能する学校にする。

イ 経営方針

① 自治的、受容的な風土の学校づくりを目指す。

・学年・学級経営の充実、使命感あふれる職員集団、教育相談体制の整備・充実、特別活動の充実

② 確かな学力が身に付く学校づくりを目指す。

・「分かった・できた」が実感できる授業、「学び方」が身に付く指導、きめ細かな指導体制、家庭学習習慣の定着、教師力を高める研修の充実

③ 豊かな心を育む学校づくりを目指す。

・道徳の授業を核とした道徳教育の充実、体験的な活動の積極的な導入と拡充

- ④ 健康で安全な学校づくりを目指す。
 - ・部活動の振興、健康教育並びに食に関する指導の充実、日常的な安全点検の充実、危機管理の徹底、生徒の危険予知・回避能力を育てる指導の充実
- ⑤ 良さや可能性をいかし、将来を展望しながら自己実現が図れる学校づくりを目指す。
 - ・キャリア教育の充実、職業体験や勤労体験などの各種体験活動の充実
- ⑥ 一人ひとりのニーズに応じた教育が提供できる学校づくりを目指す。
 - ・特別支援教育への組織的な取組、個別の教育支援計画及び指導計画に基づく柔軟な教育課程の実践、教職員研修の充実、関係機関との連携

(4) 本年度の努力点

- ア 授業のはじめに「ねらい」を提示し、何をどのように学習するのか「見通し」をもたせるとともに、授業の終わりには、「ねらい」にそった「振り返り」を行って学習内容を自覚できる授業づくりの推進、及び「学び方」を学ばせる授業の展開
- イ 互いに認め、磨き合える人間関係を基盤とした集団づくりの推進
→不登校の未然防止、学校復帰
- ウ 家庭・地域との協力関係を構築するための積極的な情報発信
- エ 明るく活力のある学校生活を送るための基盤となる「気持ちのよい挨拶・返事」の励行
- オ 地域の人的・物的教育環境をいかした教育課程の編成・実施「桐生を好きな子供の育成」
- カ 道徳の授業を核とした教育活動全般における道徳教育の改善・充実
…文部科学省「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」研究指定の推進（H29、30）
- キ ネットの危険を自ら回避できる情報モラル教育の推進、及び家庭との連携の強化

応援お願いします!

既に部活動担当からお知らせしたとおり、4月21日（土）の野球、ソフトテニス、バドミントン、サッカーを皮切りに、いよいよ市の春季大会が始まります。6月10日（日）に行われる水泳まで、桐生市・みどり市の各会場を舞台に熱戦が繰り広げられます。保護者の皆様、お子様の応援をよろしくお願いいたします。